

山元町小・中学校再編方針

平成30年12月

山元町教育委員会

【目次】

I	はじめに	1
II	これまでの経過と現状・課題	1
	(1) 平成 25 年「山元町小・中学校教育環境整備方針」の概要	
	(2) 児童生徒数の推移と予測	2
	(3) 行政区・学区の状況	4
	(4) 小・中学校施設の状況	5
	(5) 各中学校の部活動の状況	6
	(5) 小・中学校における課題等	
III	小・中学校再編の必要性（ポイント）	7
	(1) 学校再編にあたっての考え方	
	(2) 検討のポイント	
	(3) 統合と再編の違い	
	(4) 小・中学校再編の理想的な規模・役割	
IV	各種調査結果による検討内容（検討委員会）	8
	(1) 住民意向調査結果概要	
	(2) 教職員ヒアリング調査概要	9
	(3) 丸森町立小・中学校視察概要	
	(4) 住民説明会の開催概要	10
	(5) 将来人口（0～14 歳）の推計	
V	検討委員会報告を受けての方針決定までの経緯	11
	(1) 総合教育会議及び教育委員会定例会等の開催状況	
	(2) 議会等への報告及び説明の状況	12
VI	今後の小・中学校再編方針	13
	(1) 小学校の再編方針について	
	(2) 中学校の再編方針について	
	(3) 再編を進めるにあたっての留意点について	14
VII	学校教育の充実	
	(1) 知（確かな学力の育成）の主な取り組み	
	(2) 徳（豊かな人間性・社会性の育成）の主な取り組み	
	(3) 体（健やかな体の育成）の主な取り組み	
	参考資料：山元町小・中学校再編検討委員会の経過概要	15

I はじめに

全国的な少子高齢化により県内での児童生徒数の減少が進んでいる状況のなか、本町においても先の東日本大震災の影響等も加わり、児童生徒数の減少は顕著なものとなっている。

教育委員会では、平成25年3月に「山元町小・中学校教育環境整備方針」を策定し、「基本方針③：長期的な視野から小学校2学区、中学校1学区」とする学校再編に関する方針を示した。この方針は、震災により被災した中浜小学校と山下第二小学校の併設状態解消を最優先に検討し、併せて、将来の学校再編について幅広い視点から検討する必要があるとしたものである。小学校では、児童数減少に伴う複式学級編制の実施時期が山下地区3小学校の統合のタイミング、また、町内2小学校における児童数バランスを考慮した学区再編の検討、中学校では生徒同士の切磋琢磨できる環境や部活動の選択肢の幅の確保、教員定数の配置などが、今後の検討課題としてあげられていた。

現在の本町の人口は、平成25年当時よりも急速な減少傾向を示しており、これに伴い児童生徒数も想定以上に減少することが予想され、複式学級編制や教職員の配置数の減、中学校の部活動の維持などが大きな課題となってきたことから、基本方針③の再編検討に着手する時期が来たものと判断した。

再編検討にあたっては、平成29年1月に委員20名からなる「小・中学校再編検討委員会」を設置し、基本方針③に示された「小学校2学区、中学校1学区」について、住民意向調査や教職員のヒアリング、丸森町の小・中学校の視察などを行いながら、延べ14回にわたって審議していただいた。

検討委員会では、各種調査結果や将来人口の推移を踏まえるとともに、「山元町はひとつ」の考えのもと「児童生徒にとってよりより学び（学校生活）ができる環境をつくる」ことを第一義に検討を進め、平成30年10月に検討結果をまとめ「検討報告書」を提出していただいたところである。

教育委員会としては、検討委員会の検討状況を踏まえつつ、小・中学校の現状や課題への対応及び今後の学校教育環境の整備・充実の必要性から学校再編に取り組むとともに、本町における「知」「徳」「体」の各分野の課題解決を図るべく学校教育の充実にも取り組んでいくべきと判断し、総合教育会議において町長と協議、調整を行った上で「山元町小・中学校再編方針」を策定するものである。

この方針は、教育委員会の基本的な考え方を町民の皆様にお示しするものであり、今後、関係者の皆様のご理解ご協力をいただきながら、町当局との連携の下に小・中学校の教育環境の整備・充実を実現していくものである。

II これまでの経過と現状・課題

(1) 平成25年「山元町小・中学校教育環境整備方針」の概要

① 小・中学校再編検討の経緯

平成24年5月から、山元町小・中学校教育環境整備検討委員会は、震災により被災した中浜小学校と山下第二小学校の併設状態解消を最優先に、将来の学校再編についても幅広い視点から検討を行い、報告書を取りまとめた。

そして教育委員会は、その最終報告書を尊重し平成25年3月に「山元町小・中学校教育環境整備方針」を策定、学校再編に向けた3つの基本方針を示した。

② 3つの基本方針

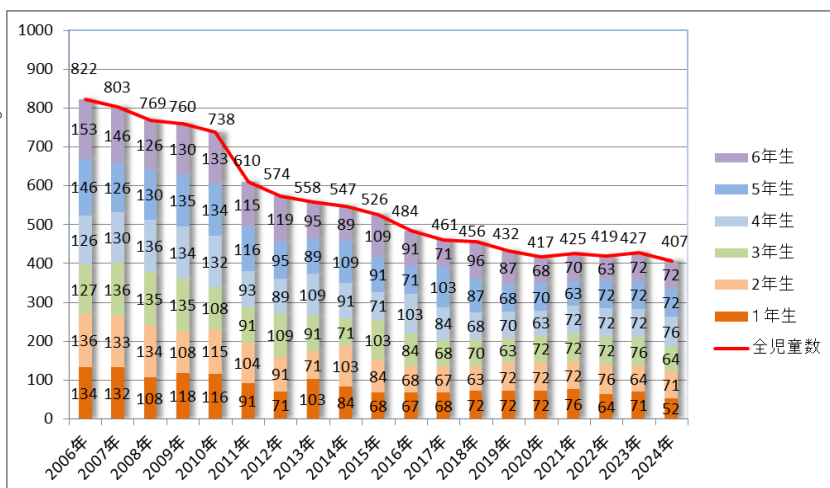
- 「基本方針①」 短期で坂元小学校と中浜小学校を統合する ⇒ 平成25年4月に統合済み
- 「基本方針②」 中期で山下第二小学校を再建する ⇒ 平成28年8月に再建済み
- 「基本方針③」 長期的な視野から小学校2学校区、中学校1学校区とする ⇒ 今回検討**

- 小学校：児童数減少に伴う複式学級編制の実施時期が、山下地区3小学校の統合のタイミング
町内2小学校における児童数のバランスを考慮した学区再編検討
- 中学校：生徒同士の切磋琢磨できる環境
部活動の選択肢の幅の確保
教員定数の確保

(2) 児童生徒数の推移と予測

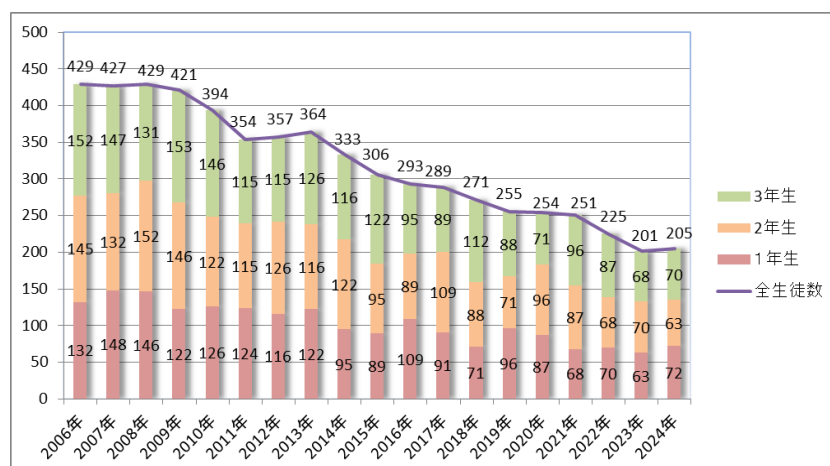
小学校の児童数は、年々減少傾向を示し平成23年の震災により減少は一段と進み、平成22年度から平成23年度において、人口の流出等により児童数は128人減少した。平成30年4月の住民基本台帳から推計した平成31年度の児童数は432人と、震災前の平成22年度738人から306人減少するものと予想される。また、平成30年度には山下小学校以外の小学校は、全て100人を切るものと予想される。また、平成31年度の山下第一小学校の入学児童は1人であることから、この児童が2年生に進級する平成32年度から複式学級となることが見込まれる。

児童数の推移と予測



また、中学校生徒数に関しても、平成21年度までほぼ横ばいで推移していたものの、震災により前年度から40人減少した。平成30年4月の住民基本台帳から推計すると、平成31年度には255人となり、震災前の平成22年度394人から139人減少するものと予想される。特に坂元中学校では、1学年20人を切る学年も出てきており、全校での生徒数も減少が続くことが見込まれる。

生徒数の推移と予測



▼山元町各小・中学校における将来児童・生徒数の推移

(2018年4月1日基準)

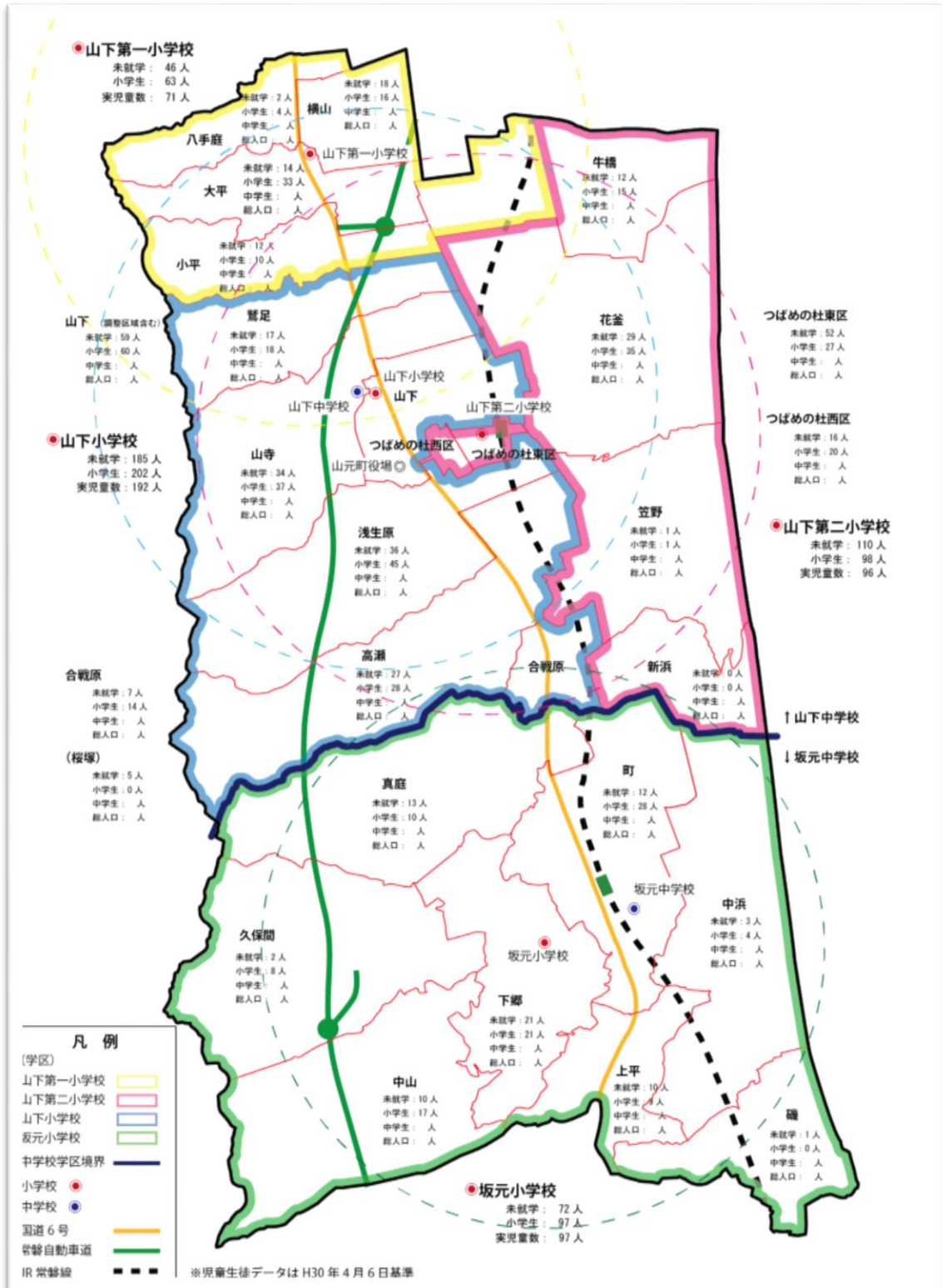
小学校名		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
坂元小学校	1年生	14	15	15	8	15	9	10
	2年生	12	14	15	15	8	15	9
	3年生	13	12	14	15	15	8	15
	4年生	12	13	12	14	15	15	8
	5年生	19	12	13	12	14	15	15
	6年生	27	19	12	13	12	14	15
	全児童数	97	85	81	77	79	76	72
山下小学校	1年生	28	33	31	34	28	36	17
	2年生	28	28	33	31	34	28	36
	3年生	35	28	28	33	31	34	28
	4年生	28	35	28	28	33	31	34
	5年生	39	28	35	28	28	33	31
	6年生	34	39	28	35	28	28	33
	全児童数	192	191	183	189	182	190	179
山下第一小学校	1年生	11	3	11	13	8	13	8
	2年生	11	11	3	11	13	8	13
	3年生	9	11	11	3	11	13	8
	4年生	14	9	11	11	3	11	13
	5年生	9	14	9	11	11	3	11
	6年生	17	9	14	9	11	11	3
	全児童数	71	57	59	58	57	59	56
山下第二小学校	1年生	19	21	15	21	13	13	17
	2年生	12	19	21	15	21	13	13
	3年生	13	12	19	21	15	21	13
	4年生	14	13	12	19	21	15	21
	5年生	20	14	13	12	19	21	15
	6年生	18	20	14	13	12	19	21
	全児童数	96	99	94	101	101	102	100
全小学校	1年生	72	72	72	76	64	71	52
	2年生	63	72	72	72	76	64	71
	3年生	70	63	72	72	72	76	64
	4年生	68	70	63	72	72	72	76
	5年生	87	68	70	63	72	72	72
	6年生	96	87	68	70	63	72	72
	全児童数	456	432	417	425	419	427	407

中学校名		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
坂元中学校	1年生	12	27	19	12	13	12	14
	2年生	22	12	27	19	12	13	12
	3年生	31	22	12	27	19	12	13
	全生徒数	65	61	58	58	44	37	39
山下中学校	1年生	59	69	68	56	57	51	58
	2年生	66	59	69	68	56	57	51
	3年生	81	66	59	69	68	56	57
	全生徒数	206	194	196	193	181	164	166
全中学校	1年生	71	96	87	68	70	63	72
	2年生	88	71	96	87	68	70	63
	3年生	112	88	71	96	87	68	70
	全生徒数	271	255	254	251	225	201	205

(3) 行政区・学校区と児童数の状況

本町における行政区と学校区の状況は以下のとおりであり、山下第二小学校が山下新市街地内に再建されたことから、山下小学校と山下第二小学校が近接する形となった。

▼山元町各小・中学校区の状況（図中記載人数は小学校関連の児童数のみ）



(4) 小・中学校施設の状況

町内の各小・中学校施設の建設年度、構造、階数、面積、耐震診断等における施設状況を以下に整理する。2016年に再建された山下第二小学校は、震災時の学校同等規模にて再建されたため、再編に伴う校舎等の活用について、教室の拡充確保は困難である。

▼山元町各小・中学校施設の状況

2018.04.19時点

学校名	校舎 体育館	建設 年度	構造	階 数	延床 面積 (㎡)	敷地 面積 (㎡)	運動場 面積 (㎡)	耐震診断	備考	
坂元小	校舎1	1980	S55	RC	3	1,750	校舎 4,750	7,390	結果適合	
	校舎2	1981	S56	RC	3	1,661			その他 3,881	結果適合
	体育館	2014	H26	S	2	1,055		新耐震基準		H26新築
	教室数	9	使用教室数	7	空き教室数	2				
山下小	校舎1	1978	S53	RC	3	2,432	校舎 7,365	4,309	耐震補強必要(済)	H22/11 耐震補強済
	校舎2	1978	S53	RC	3	739			その他 1,326	
	体育館	1968	S43	S	1	638	耐震補強必要(済)			
	教室数	13	使用教室数	9	空き教室数	4				
山下第一小	校舎1	1983	S58	RC	3	1,480	校舎 4,366	5,726	新耐震基準	
	校舎2	1984	S59	RC	3	2,100			その他 2,954	新耐震基準
	体育館	1964	S39	S	1	478	耐震補強必要(済)	H22/11 耐震補強済		
	教室数	11	使用教室数	7	空き教室数	4				
山下第二小	校舎	2016	H28	S.W	2	3,752	校舎 16,466	6,400	新耐震基準	H28新築
	体育館	2016	H28	RC.W	1	861	その他 5,367		新耐震基準	H28新築
	教室数	9	使用教室数	8	空き教室数	1				
坂元中	校舎	1994	H6	RC	3	4,722	校舎 11,500	25,770	新耐震基準	
	体育館	1995	H7	RC	2	1,199			その他 14,340	新耐震基準
	連携	1995	H8	RC	2	234	新耐震基準			
	教室数	6	使用教室数	3	空き教室数	3				
山下中	校舎1	2002	H14	RC	2	4,151	校舎 13,690	21,529	新耐震基準	
	校舎2	2003	H15	RC	2	1,982			新耐震基準	
	連携	2003	H15	RC	2	210	その他 6,989	新耐震基準		
	校舎3	2003	H15	RC	2	205		新耐震基準		
	体育館	2003	H15	RC	2	2,107	新耐震基準			
	連携	2003	H15	RC	2	401	新耐震基準			
	教室数	13	使用教室数	10	空き教室数	3				

※構造：RC_鉄筋コンクリート造、S_鉄骨造、W_木造

(5) 各中学校の部活動の状況

▼各中学校部活動の状況

2018.04 時点

	団体戦最低 必要人数	個人戦	坂元中学校					山下中学校					計			合 計
			1年生	2年生	1+2年生	3年生	合計	1年生	2年生	1+2年生	3年生	合計	1年生	2年生	3年生	
野 球	9人	無し	4	3	7	8	15	7	1	8	8	16	11	4	16	31
サッカー	8人	無し	—	—	—	—	—	3	8	11	6	17	3	8	6	17
ソフトボール	9人	無し	—	—	—	—	—	0	0	0	3	3	0	0	3	3
男子ソフトテニス	4人	有り	—	—	—	—	—	5	4	9	7	16	5	4	7	16
女子ソフトテニス	4人	有り	2	3	5	3	8	3	13	16	7	23	5	16	10	31
男子バレー	6人	無し	—	—	—	—	—	1	7	8	4	12	1	7	4	12
女子バレー	6人	無し	2	4	6	2	8	10	5	15	12	27	12	9	14	35
男子バスケ	5人	無し	1	5	6	0	6	0	2	2	5	7	1	7	5	13
女子バスケ	5人	無し	1	2	3	3	6	5	3	8	5	13	6	5	8	19
男子卓球	6人	有り	1	4	5	4	9	5	3	8	3	11	6	7	7	20
女子卓球	6人	有り	—	—	—	—	—	9	9	18	6	24	9	9	6	24
吹奏楽	—	無し	1	1	2	11	13	4	1	5	8	13	5	2	19	26
男子剣道	3人	有り	—	—	—	—	—	1	1	2	0	2	1	1	0	2
女子剣道	3人	有り	—	—	—	—	—	2	1	3	0	3	2	1	0	3
男子柔道	3人	有り	—	—	—	—	—	1	1	2	0	2	1	1	0	2
女子柔道	2人	有り	—	—	—	—	—	0	1	1	1	2	0	1	1	2
美 術	—	—	—	—	—	—	—	2	6	8	6	14	2	6	6	14
計			12	22	34	31	65	58	66	124	81	205	70	88	112	270
=団体種目で部員不足が懸念される部活動																

※ 2018年巨理郡新人大会 合同チーム編成の種目 野球、男子バスケ、女子バスケ (坂元中・山下中)
女子バレー (坂元中・吉田中)

(6) 小・中学校における課題等

○小学校の課題等

- ・極端な男女比のアンバランスによる、児童の学習活動や学校生活への不安・心配
- ・複式学級編制の可能性

○中学校の課題等

- ・坂元中学校における教員が9教科配置になっていない(学級数の関係・非常勤講師対応)
- ・部員数減少に伴う十分な部活動やチーム編成が出来ない状況

III 小・中学校再編の必要性（ポイント）

(1) 再編にあたっての考え方

小・中学校再編の検討を進めるにあたり「山元町はひとつ」の考えのもとに「児童生徒にとってよりよい学び（学校生活）ができる教育環境をつくる」観点から検討をするとともに、児童生徒数の減少に伴う現状や課題について留意する。

(2) 検討のポイント

○小学校

児童数の減少により複式学級編制が生じる可能性が見えてきたことから、平成25年の「山元町小・中学校教育環境整備方針」における「小学校2学校区」の見直しも含めて、長期的視野で検討する。

○中学校

生徒数の減少による学習面や部活動面を考慮し、2中学校を再編し「中学校1学校区」として再編時期も含め検討する。

(3) 統合と再編の違い

○統合

複数ある学校をいずれかの学校に合併することで、その場合、校名、校章、校歌等は統合先のものをそのまま残し使用する。

○再編

現在ある学区・学校を廃止し、新たな学区・学校を配置し直すことで、この場合、校名、校章、校歌等を新たに制定する。

(4) 小・中学校再編の理想的な規模・役割

小・中学校における理想的な学校規模については、「少子化に対応した学校規模の適正化が全国的に大きな課題」であることから、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（文科省通知）として通知、なお、内容は機械的に適用せず、各市町村における主体的な検討の参考資料とする。

○学校規模の適正化

- ・小・中学校ともに12学級以上、18学級以下が標準
(クラス替えができるかどうかを判断基準)

○学校の適正配置

- ・通学距離は小学校で4km以内、中学校で6km以内
- ・スクールバス等、交通手段が確保できる場合はおおむね1時間以内を目安

○学校規模の適正化に関する基本的な考え方

【教育的な観点】

あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に捉え、学校教育の目的や目標をよりよく実現するために行うべきもの。

【地域コミュニティの核としての性格への配慮】

防災、保育、地域交流の場など、様々な機能を合わせもつことに留意し、保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが望まれる。

IV 各種調査結果による検討内容（検討委員会）

(1) 住民意向調査結果概要

- ◆調査対象：地域住民（18歳以上）・・・1200人
小・中学校保護者・・・625人
保育所・幼稚園保護者・・・232人
- ◆調査期間：平成29年1月15日～29日
- ◆回収状況：配布数2057票、回収票数1250票、回収率60.77%（全体）
- ◆調査結果

○小・中学校再編等の検討の必要性について

今後の山元町教育環境を考えるうえで、「小・中学校再編検討の必要性」について最も多かったのは、「H25年の整備方針にあるとおりに再編を検討・・・」22.2%、次いで「H25年の整備方針を見直し再編を検討・・・」20.3%、「まずは中学校を優先して再編・・・」19.2%であった。

上記回答結果は、2ポイント差の中に入っていることから、ほぼ同数に近い結果であり、また、「まずは小学校を優先して再編・・・」を含めると、全回答者の7割以上が「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討をしていく必要がある」との調査結果であった。

	調査数	H25年の整備方針を検討していくべき	H25年の整備方針を見直し、小学校と中学校の再編を検討していくべき	まずは小学校を優先して再編を検討していくべき	まずは中学校を優先して再編を検討していくべき	まだ学校再編を検討する段階ではない	学校再編を検討する必要はない	行政にまかせる	わからない	その他	無回答
地域住民	508 100.0	98 19.3	119 23.4	51 10.0	65 12.8	30 5.9	14 2.8	67 13.2	45 8.9	6 1.2	13 2.6
小中学校保護者	543 100.0	128 23.6	94 17.3	34 6.3	137 25.2	23 4.2	26 4.8	42 7.7	53 9.8	4 0.7	2 0.4
保育所幼稚園保護者	199 100.0	50 25.1	41 20.6	24 12.1	38 19.1	5 2.5	2 1.0	13 6.5	20 10.1	5 2.5	1 0.5
全体	1250 100.0	276 22.1	254 20.3	109 8.7	240 19.2	58 4.6	42 3.4	122 9.8	118 9.4	15 1.2	16 1.3

「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」とした回答

(2) 教職員ヒアリング調査概要

小・中学校の教育現場からみた、適正と思う学校規模や再編の必要性等について、1 教職員の立場を前提として各学校数名の教職員との意見交換、ヒアリングを実施した。

◆調査対象：各小中学校教職員（1 人約 20～30 分）

◆調査方法：聞き取り

◆調査結果

○教育現場から見た適正な学校規模

小学校・・・1 クラス 20～30 人程度で、1 学年 2 クラス以上を理想

1 クラス 20 人前後で、単学級でも学習方法の工夫次第で対応可能

中学校・・・1 クラス 20～30 人程度で、1 学年 2～4 クラス以内

クラスの規模や学校規模は地域によって違ってもよいと考える

その他・・・複式学級は回避したほうがよい

単学級のメリットはあるが、それ以上にデメリットは大きいと考える

○教育現場から見た再編の必要性

町内の人口減少、それに伴う各学校の規模のアンバランス化、そして本町の財政面を考えると学校の再編は必要

(3) 丸森町立小・中学校視察概要

複式学級編制の実施や中学校の再編経験を有する丸森町の小・中学校の視察を行い、本町の小・中学校再編に向けて検討の参考とした。

◆実施月日：平成 29 年 2 月 8 日

◆参加人数：検討委員等 12 人（事務局 2 人含む）

◆視察場所：金山小学校、丸森中学校、丸森町教育委員会

◆視察概要

○金山小学校（1、2 年生での複式学級の実施）

○丸森中学校（平成 24 年に 4 中学校を統合）

・スクールバス 11 路線にて運行

・年間委託料約 5,000 万円

○廃止校の活用

・特別養護老人ホーム、デイサービス

・福祉法人へ無償貸与（菓子製造）

・体育館は地域の避難所となることから、普通財産に移管し体育協会等が管理

・校舎等を解体後、校地の一部を誘致企業に貸与

(4) 住民説明会の開催

○平成29年8月住民説明会（教育委員会主催）

月 日	会 場	参加者数	内 容	備考
8月4日	山二小体育館	26人	平成25年整備方針③の検討に着手する旨の説明	山二学区
8月5日	山下中体育館	28人		山小学区
8月5日	山一小体育館	33人		山一学区
8月6日	おもだか館	48人		坂小学区
8月6日	中央公民館	40人		全体
計		171人		

○平成30年8月住民説明会（検討委員会主催）

月 日	会 場	参加者数	内 容	備考
8月3日	おもだか館	38人	検討委員会での再編の方向性について説明	坂小学区
8月4日	山下中体育館	26人		山小学区
8月4日	山一小体育館	25人		山一学区
8月5日	ひだまりホール	19人		山二学区
8月5日	ひだまりホール	10人		全体
計		118人		

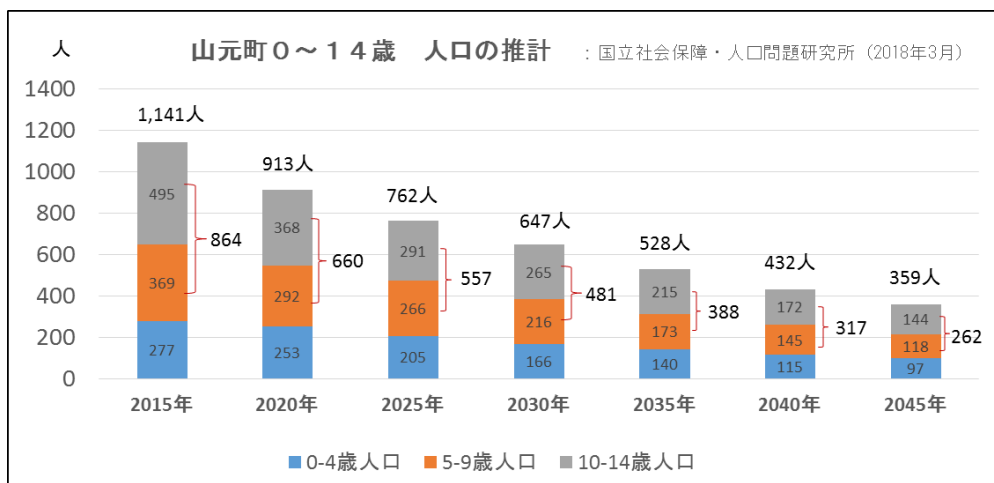
○平成30年12月住民説明会（教育委員会主催）

月 日	会 場	参加者数	内 容	備考
12月2日	おもだか館	24人	教育委員会再編方針(案)について説明	坂元学区
12月2日	ひだまりホール	16人		山下学区
計		40人		

(5) 将来人口（0～14歳）の推計

町内人口の減少に比例して、子どもたちの人口も減少することとなる。昨年3月に国立社会保障・人口問題研究所から発表された推計では、本町における14歳以下の人口は2030年で647人、2045年では359人となり、小・中学校の児童生徒においてはさらに減少することも考えられる。

▼山元町0～14歳人口推計



V 検討委員会報告を受けてから方針決定までの経緯

(1) 総合教育会議及び教育委員会等の開催状況（主なもの）

区 分	期 日	内 容
平成 29 年度 第 1 回総合教育会議	平成 29 年 5 月 24 日	議題：山元町内小・中学校の再編について
平成 29 年度 第 5 回教育委員会定例会	平成 29 年 8 月 25 日	報告：町立小・中学校再編検討説明会について
平成 29 年度 第 6 回教育委員会定例会	平成 29 年 9 月 26 日	議案：山元町小・中学校再編検討委員会設置要綱 について
平成 30 年度 第 1 回総合教育会議	平成 30 年 5 月 24 日	議題：山元町内小・中学校の再編検討について
平成 30 年度 第 5 回教育委員会定例会	平成 30 年 8 月 23 日	報告：山元町小・中学校再編検討に係る住民説明 会の結果について
平成 30 年度 第 2 回教育委員会臨時会	平成 30 年 10 月 18 日	報告：山元町小・中学校再編検討報告書について
平成 30 年度 第 2 回総合教育会議	平成 30 年 10 月 25 日	議題：小・中学校再編について
平成 30 年度 第 7 回教育委員会定例会	平成 30 年 10 月 25 日	報告：山元町小・中学校再編方針（案）について
平成 30 年度 第 8 回教育委員会定例会	平成 30 年 11 月 26 日	報告：小・中学校再編方針（案）に係る住民説明 会資料について
平成 30 年度 第 3 回総合教育会議	平成 30 年 12 月 25 日	議題：小・中学校再編方針に係る住民説明会の結 果等について、小・中学校再編方針（案） について、学校再編に係る今後のスケジ ュール等について
平成 30 年度 第 9 回教育委員会定例会	平成 30 年 12 月 25 日	議案：小・中学校再編方針について

※総合教育会議とは、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行う場であり、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを期待されている。なお、会議において調整がついた事項については、それぞれその結果を尊重して事務を執行することとなる。

(2) 山元町議会等への報告・説明の状況

区 分	期 日	内 容
産建教育常任委員会	平成 29 年 7 月 18 日	小・中学校の再編検討状況について
議会全員協議会	平成 29 年 7 月 21 日	小・中学校の再編検討状況について
議会全員協議会	平成 29 年 8 月 22 日	町立小・中学校再編検討説明会開催状況等について
産建教育常任委員会	平成 29 年 10 月 3 日	山元町小・中学校再編検討委員会設置要綱について
産建教育常任委員会	平成 29 年 12 月 14 日	山元町小・中学校再編検討委員会検討スケジュール（案）について
議会全員協議会	平成 30 年 4 月 20 日	小・中学校再編検討にかかる意向調査結果について
産建教育常任委員会	平成 30 年 5 月 11 日	小中学校の再編検討の状況について
産建教育常任委員会	平成 30 年 7 月 10 日	山元町小・中学校再編検討について
議会全員協議会	平成 30 年 7 月 20 日	山元町小・中学校再編検討について
産建教育常任委員会	平成 30 年 8 月 6 日	山元町小・中学校再編検討に係る説明会の実施状況について（速報）
議会全員協議会	平成 30 年 8 月 21 日	山元町小・中学校再編検討に係る住民説明会の結果について
産建教育常任委員会	平成 30 年 10 月 17 日	小・中学校再編検討について
産建教育常任委員会	平成 30 年 11 月 16 日	山元町小・中学校再編方針（案）について
議会全員協議会	平成 30 年 11 月 19 日	山元町小・中学校再編方針（案）について
産建教育常任委員会	平成 31 年 1 月 9 日	山元町小・中学校再編の方針決定について
議会全員協議会	平成 31 年 1 月 21 日	山元町小・中学校再編の方針決定について

VI 今後の小・中学校再編方針

教育委員会では、平成25年の「教育環境整備方針」の基本方針③に係る検討委員会での検討結果も踏まえつつ、町内小・中学校の現状や課題への対応及び学校教育環境の整備・充実の必要性から、今後学校再編を進めるべきと考え、その方針を下記のとおりとする。

(1) 小学校の再編方針について

○再編方針

平成25年整備方針：長期的な視野から「小学校2学校区」



前回の方針一部見直し

今回の再編方針：10年後を目途に「小学校1学校区」

※中学校再編後、児童数の推移等を見据えながら、目標年を設定し最終的に小学校1学校区として調整を進める。概ね10年後を目途として進める。

○再編の必要性（留意点）

- ・クラス替えができる学校規模が望ましい（友人との交流、お互いを認め合う協調性の育成など）。複式学級編制は避ける必要がある。
- ・人口推計から最終的に1学校区となることが想定される。
- ・将来確実に複式学級が想定されることから、今のタイミングで1学校区とする方向性を示し、中学校再編後に調整する。

(2) 中学校の再編方針について

○再編方針

平成25年整備方針：長期的な視野から「中学校1学校区」



前回の方針踏襲

今回の再編方針：2021年4月に「中学校1学校区」現山下中学校を活用

※今後は坂元中学校・山下中学校の学校間交流活動を推進するなど、再編時に生徒同士が円滑に学校生活を送れるよう準備を進める。

○再編の必要性（留意点）

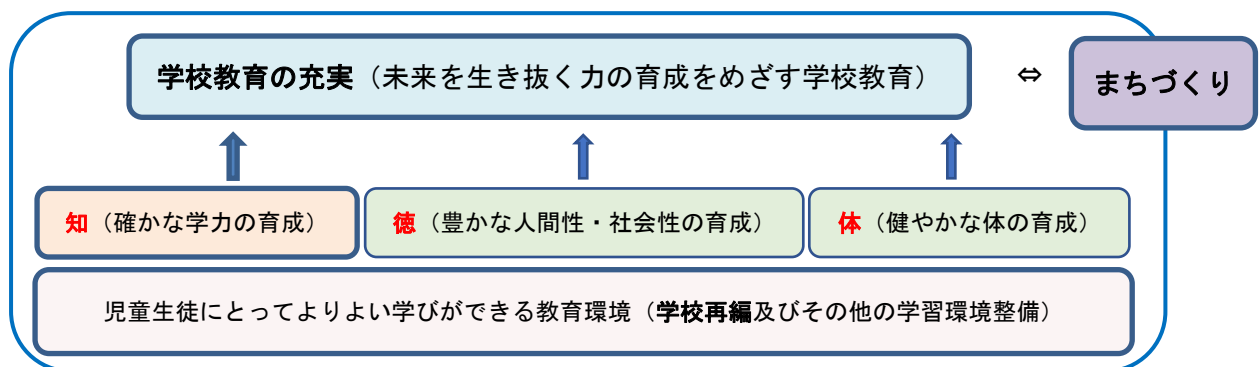
- ・中学校段階では切磋琢磨できる環境が望ましい。
- ・生徒数が少ないことにより本務教員の配置が難しく、学習面でも不安がある。
- ・生徒にとっては、学業だけでなく部活動も大切である。
- ・坂元中学校の現状を鑑み、早急に再編を進める必要がある。

(3)再編を進めるにあたっての留意点について

- 地域、保護者、子どもたちへの説明・理解
- 閉校及び再編後の開校に向けた事務・手続等の洗い出し
- 通学手段と安全確保の検討（スクールバス・通学路等）
- 小学校再編に伴う校地・校舎等の検討
- 中学校再編に伴う校舎改修等の確認
- 廃止校の校地・校舎等施設の活用策の検討

VII 学校教育の充実

今回の学校再編（教育環境整備）と併せて、現状の課題を踏まえながら、今後本町における学校教育の充実を図る。



(1)知（確かな学力の育成）に係る主な取組

- 学校サポート事業
- 町内標準学力テストの実施（年2回）
- 学習支援のための指導者・支援員等の配置
- 「3つの約束」の指導・啓発

(2)徳（豊かな人間性・社会性の育成）に係る主な取組

- 心のケアハウス事業の実施
- スクールソーシャルワーカーの活用（連携）
- いじめ・不登校対策
- 道徳教育の推進

(3)体（健やかな体の育成）に係る主な取組

- 健康指導、食育の充実
- 日常的な体力づくりの取組（業間・体育・部活動等）
- 「3つの約束（基本的な生活習慣）」の指導・啓発

参考：検討委員会の設置、開催状況

月日	委員会の検討概要	調査・検討概要
平成 29 年 11/14	第 1 回検討委員会 ・ 委嘱状交付、委員長・副委員長選出 ・ 目的やスケジュール説明	◆基礎的調査 ・ 山元町人口推計、町内児童・生徒数の推移、学校施設の状況等について整理
11/30	第 2 回検討委員会 ・ 各意向調査原案や基礎調査の報告、意向調査実施の確認	
12/19	第 3 回検討委員会 ・ 各意向調査原案の確認 ・ 今後の委員会スケジュール等について	
平成 30 年 1月中旬		◆地域住民・保護者意向調査の実施 ◆教職員ヒアリング調査の実施 (1/10~16)
1/24	第 4 回検討委員会（2 グループでの検討） ・ 教職員ヒアリング調査の概要報告 ・ 学区、行政区別の状況把握 ・ 学校適正規模について検討・意見交換	◇各意向調査票の回収、集計開始 ・ 小規模校におけるメリット、デメリットを把握
2/23	第 5 回検討委員会（2 グループでの検討） ・ 意向調査単純集計速報値の報告 ・ 丸森町視察結果について意見交換 ・ 再編の方向性検討・意見交換	◆丸森町小・中学校視察（2/8）(P.23) ・ 複式学級におけるメリット、デメリットを把握
3/30	第 6 回検討委員会 ・ 意向調査結果（報告書）の確認 ・ 山二小再建経緯の確認 ・ 再編の方向性検討・意見交換	◆各意向調査報告書完成 ・ 意向調査結果による意向把握 ・ H25 年整備方針に捉われず、見直しを図る必要性ありとの確認
4/19	第 7 回検討委員会 ・ 行政区別児童・生徒数の推移 ・ 小中学校施設規模、経過年数等の確認 ・ 再編の方向性検討・意見交換	・ 将来の山元町人口、児童生徒数の推計を確認 ・ 学校施設の状況を確認
5/23	第 8 回検討委員会 ・ 小中学校再編パターンの検討 ・ 学校施設の老朽化、維持管理費の把握 ・ 山元町将来人口の推移再確認 ・ 再編の方向性検討・意見交換	・ 中学校を 1 学区として再編していく方向で確認 ・ 山二小再建について理解した上で、地域や将来人口を踏まえた問題・課題を確認 ・ 将来的な小学校区について方向性確認
6/13	第 9 回検討委員会 ・ 小学校再編の方向性について	
6/28	第 10 回検討委員会 ・ 小学校再編の方向性について ・ 方向性の確認	・ 将来的に小学校を 1 学区として再編する方向で確認

7/11	<p>第 11 回検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校再編に向けた検討報告の概要（案）について 	
8/3~8/5		<p>◆地域住民説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校区別 4 回、全体 1 回
9/11	<p>第 12 回検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民説明会等の結果を踏まえた学校再編の方向性の再確認について ・ 山元町小・中学校再編検討報告書について 	
9/27	<p>第 13 回検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山元町小・中学校再編検討報告書について 	
10/11	<p>第 14 回検討委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山元町小・中学校再編検討報告書について 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #f0d0d0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終的な報告書のとりまとめを検討・確認 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0d0d0; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会に山元町小・中学校再編検討報告書を提出 </div>